

宇部市の内部環境

健康福祉

まちづくりの目標

一人ひとりが心豊かに
安心して暮らせるまち
を目指す。

宇部市の内部環境	
強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>【現状】 [S-1]医療・福祉施設、医師資格者が充実 [S-2]第3次救急医療機関(山口大学医学部附属病院)の存在 [S-3]退院情報連絡システムの運営 [S-4]在宅ケア支援システムの構築 [S-5]地域における医療(診療)連携構築がすすんでいる [S-6]医療情報の市民へ積極的な提供 [S-7]福祉行政と関係機関、一般との連携の充実 [S-8]宇部市障害者就労支援ネットワーク会議による就労支援 [S-9]宇部市障害者ケア協議会における市民協働 [S-10]障害者就業・生活支援センターの県内での先導的な役割 [S-11]校区ごとのふれあいセンターの存在</p> <p>【市民等意識・評価(満足度等)】 [S-12]休日・夜間診療が充実している [S-13]ふれあいセンター等における地域活動が充実している [S-14]高齢者の住みやすさ意識が高い</p>	<p>【現状】 [W-1]団塊世代の高齢化による高齢者の急激な増加 [W-2]少子化による人口減少 [W-3]若年層の流出 [W-4]中心市街地の求心力の低下 [W-5]中山間地域の過疎化 [W-6]厳しい財政状況 [W-7]市民の行政サービスに対する認知が不十分 [W-8]セーフティネットが市民に知られていない [W-9]医療フォーラム等啓発事業への参加者の固定化 [W-10]障害者施設利用者の固定化 [W-11]障害者の働く場、移動手段が不足 [W-12]障害者の地域生活の場となるグループホーム、ケアホーム数の不足 [W-13]障害児の通級教室の不足</p> <p>【市民等意識・評価(満足度等)】 [W-14]公共交通機関が不便 [W-15]高齢者サービスの満足度が低い [W-16]障害者サービスの満足度が低い [W-17]子育て支援サービスの満足度が低い [W-18]医療と保健や福祉との連携体制の強化の満足度が低い [W-19]総合的な福祉の推進の満足度が低い [W-20]北部・楠地域では、住みにくい点として、医療福祉施設の不足を挙げる割合が他地域より高い</p>
成長機会 (Opportunity)	【成長のための戦略】
<p>【トレンド(社会的背景)】 [O-1]地方分権社会の進展 [O-2]ライフスタイルの変化・多様化 [O-3]情報通信技術の発達 [O-4]健康意識の高まり [O-5]社会への貢献意識の高まり [O-6]安全・安心に対する意識の高まり [O-7]心の豊かさへの意識の高まり [O-8]国連による障害者権利条約の発効 [O-9]障害者自立支援法の制定(措置から契約へ) [O-10]障害者雇用促進法の強化 [O-11]国の成長力底上げ戦略による障害者の一般就労強化、「工賃倍増計画」 [O-12]ダイバーシティマネジメント [O-13]障害者も納税者にという考えの広まり [O-14]学校教育法への特別支援教育の位置付け</p> <p>【市民ニーズ(重要度・優先度)】 [O-15]健康づくりの推進の重要度が高い [O-16]医療体制の強化の重要度が高い [O-17]総合的な福祉の推進の重要度が高い [O-18]定住促進等対策で、少子化対策と高齢化対策が1・2位 [O-19]行政との協働について、福祉分野での協働意向が最も高い</p>	<p>【健康福祉以外の分野との連携の深化】 健康の持つ意味を、個人の心身の在り方から、それを支える物的・社会的環境づくりへ広げた、WHO提唱の「健康都市」の理念を取り入れ、健康福祉の取組と、居住環境、都市基盤の整備等の他のまちづくりの取組との連携を深める。 [S-1,S-2,S-3,S-4,S-5,S-6,S-7,S-12,S-14 / O-1,O-4,O-5,O-7,O-15,O-16,O-19]</p> <p>【地域に根ざした健康福祉の充実】(優先戦略) ふれあいセンター等を活用し、地域コミュニティの中に、年齢や障害の有無に関わらず、いろいろな人が気軽に集い、共に心豊かにいきいきと活動できる場をつくる。 [S-6,S-7,S-8,S-9,S-10,S-11,S-13,S-14 / O-4,O-5,O-7,O-8,O-9,O-10,O-11,O-12,O-13,O-15,O-17,O-18,O-19]</p>
脅威 (Threat)	【改善のための戦略】
<p>【トレンド(社会的背景)】 [T-1]団塊世代の大量退職 [T-2]人口減少、少子高齢社会 [T-3]労働人口の減少 [T-4]医療費の増大 [T-5]医療機関を受診する患者のモラルの低下 [T-6]気のなる子供の増加(集団力の弱体化)</p>	<p>【課題を克服する環境整備】 医療・福祉情報を市民に行き渡らせるとともに、困った市民がすぐに接触できるセーフティネットを構築する。 [W-7,W-8,W-9,W-18,W-19 / O-3,O-4,O-15,O-16,O-17]</p> <p>医療施設が不足している中山間地域の地域住民が、適切な医療が受けられるよう、医療連携体制の整備・充実や移送体制の確保を図る。 [W-5,W-20 / O-6,O-16]</p> <p>高齢者の日常生活の活発化が地域の活性化につながるという視点を持ち、高齢者の交通手段の確保に地元事業者や地域住民の協力・支援の手法を取り入れ、高齢者と地域のWin-Win(両得)の関係を築く。 [W-1,W-3,W-4,W-5,W-14,W-15 / O-2,O-3,O-4,O-5,O-7]</p> <p>障害者が地域で当たり前で暮らせる生活環境を整備するとともに、その生活支援に高齢者の力を活用し、お互いに共助の関係を築く。 [W-1,W-10,W-11,W-12,W-16 / O-5,O-9,O-17]</p> <p>安心して子どもを産み育てられるように子育ての環境づくりをするとともに、保健・医療・福祉・地域・教育が連携して一体となって支援する。 [W-2,W-17 / O-18]</p> <p>発達障害等のある子供たちがその子なりの発達が保障されるような教育環境を創造し、将来社会が安心できる環境整備を図る。 [W-13 / O-14]</p>
脅威 (Threat)	【強化のための戦略】
<p>【潜在力の発現支援】 高齢者が知識と経験を活かして生涯現役で生きがいをもって活躍できる環境整備を図る。 [S-7,S-14 / T-1,T-2,T-3]</p> <p>障害者がそれぞれの特性を活かし、当たり前で働ける環境整備を図る。 [S-7,S-8,S-9,S-10 / T-2,T-3]</p> <p>【持続可能な医療】 今後も本当に必要な医療を提供・享受できるよう、医療連携を更に進め、市民も制度を正しく理解する。 [S-3,S-4,S-6,S-12 / T-4,T-5]</p>	<p>【逆転の発想】 団塊世代の大量退職および高齢化をプラスイメージで捉え、生涯現役社会となるよう、健康で役立ち感や居場所を実感できる地域づくりをする。 [W-1,W-2,W-6 / T-1,T-2,T-3]</p>

赤字は優先戦略を示す。